

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号（ 7 ） 議員名（ 佐貫 薫 ）

1 年 月 日 2015年11月30日～12月1日 (日数 1泊 2日)

2 場 所 東京都千代田区大手町

3 視察、研修事項 日経グローバルセミナー「道の駅による地方創生策」

4 面 接 者 内閣府地域活性化伝導師 加藤 文男 氏

5 視察研修、研修会の成果

## 【研修の要点】

地方創生における「道の駅」の有効活用と今後の展開策について。

## 【研修内容】

### (1) 南房総の道の駅を例にした現状

南房総の道の駅「とみうら 枇杷倶楽部」に1991年に取り組んだ時、道の駅の制度自体はなかった。制度が出来たのは1993年4月22日が第1期指定。道の駅という概念が固まっていない、また機能も固まっていない時代に自分たちで必死で考えて、作り込んで来た。

### 【南房総の例】

#### ①批判

- ・6次化産業に取り組んだ頃には、「税金でつくって、商売の邪魔をして穴埋めは税金か」などの批判があった。
- ・初代駅長（ご本人）を辞めさせろという署名運動も始まった。

#### ②批判のあと

・「とみうら 枇杷倶楽部」が成功したあと、南房総エリアでは一時、道の駅が12カ所まで増えて、南房総市に至っては人口5000人あたりに1駅あるという道の駅の超激戦区に。

道の駅は、「ローテクの塊」で、特に過疎地域の地域振興には非常に相性がいい。今、ベトナムなど途上国でも展開中。日本全国で1079カ所（研修時）であり、売上自体は平均で2億2000万程度。利用者は全国で約2億2800万人、1駅当たり20万人程度。

### (2) 道の駅の運営について

ほとんどが指定管理であるが、道の駅を営業施設として売上を上げ、最終的には利益を出すとしたときに指定管理という制度が道の駅になじむのか非常に疑問。利益が上がったら職員に、ステークホルダーに返す。行政ではそれができない。売上、利益を伸ばす上で、サービス業は人。人の運営に長けていない行政、行政の仕組みでは非常に問題が多い。

### (3) 道の駅を地域がステップアップする基盤に

道の駅は地域がステップアップしていくためのプラットフォーム。例えば6次化産業であれば、生産者、生産地域が加工というスキルを持つこと。販売する＝マーケティングのスキルをつけること。また、防災機能を持たせる等、防災のコンビニとしての機能も持たせたい。

# 2015年度 研修視察報告書

- ・大阪府池田市 「地域分権制度について」
- ・徳島県神山町 「IT企業の地方誘致について」
- ・兵庫県相生市 「子育て支援宣言都市について」

2016年4月15日提出  
矢板市議会議員 佐貫 薫

1

## ■ 1. 研修基礎情報

1. 視察年月日 : 2015年10月14日～16日(2泊3日)

2. 視察研修自治体 : 大阪府・池田市、徳島県・神山町、兵庫県・相生市

### 3. 視察目的

それぞれの自治体の強みに特化し、経営資源(人財、仕事、予算)の積極的活用から生み出される独自性あるまちづくりを学び、矢板市のまちづくりに活かす。

### 4. 研修先様

・大阪府池田市

総合政策部 地域分権・協働課 岩寄隆さま、同・副主幹 北村仁志さま  
議会事務局次長 榊野祐子さま

・徳島県神山町

産業観光課・課長補佐 高橋成文さま、NPOグリーンバレー 木内康勝さま

・兵庫県相生市

企画総務部参事 中津尚さま、同・北條さま  
副議長 宮舛(みやくさ)真木さま 議会事務局副主幹 團剛さま

2

■2-1. 研修報告 大阪府池田市「地域分権制度について」

1. 行政基礎データ

- 人口(2015年5月1日)  
102,886人
  - 予算(平成27年度予算)  
一般会計:370億
- ※詳細は右の図を参照。



各会計予算前年度比較

会計区分	27年度当初予算額	26年度当初予算額	増減額
一般会計	369億9,100万円	344億5,400万円	25億3,700万円
特別会計			
国民健康保険	130億7,892万円	113億1,193万2千円	17億6,698万8千円
財産区	3億943万7千円	3億4,383万2千円	△3,439万5千円
介護保険事業	79億8,351万6千円	80億5,775万9千円	△7,424万3千円
後期高齢者医療事業	18億5,104万8千円	18億6,482万3千円	△1,377万5千円
病院事業会計	126億95万9千円	136億8,069万6千円	△10億7,973万7千円
水道事業会計	42億2,907万1千円	42億4,477万1千円	△1,570万円
公共下水道事業会計	42億2,891万8千円	42億1,777万8千円	1,114千円
合計	812億7,286万9千円	781億7,559万1千円	30億9,727万8千円

■2-1. 研修報告 大阪府池田市「地域分権制度について」

2. 視察内容

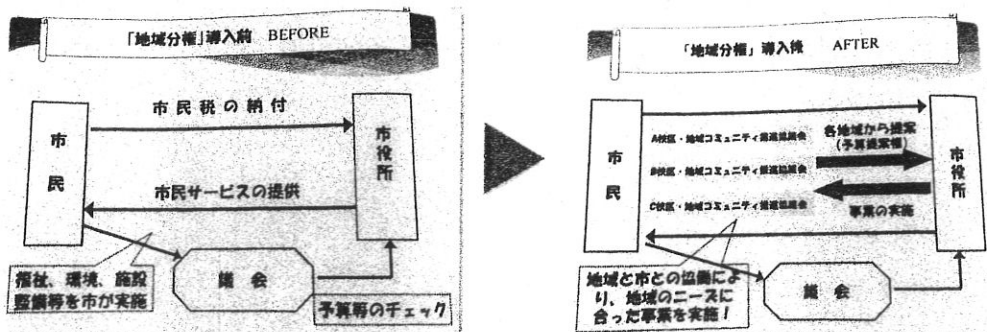
1. 地域分権制度について

- ・キーワード「自分たちの街は自分たちでつくろう」
- ・2007年よりスタート。現在9年目。
- ・全国初の制度。

2. 制度内容

- ・個人住民税の1%の予算の使い道を市民にゆだねる制度。
- ・市民によって構成される「地域コミュニティ推進協議会」が、地域のためになるよう予算の使い道について市に提案。

3. 地域分権導入前後の市民・行政、議会の関係



3. 市内11小学校区の地域コミュニティ推進協議会

4. 地域コミュニティ推進協議会の組織構成

- ・初年度に全小学校区で立ち上がった。
  - ・地元を良くしたいと思っている住民なら誰でも参加可能
  - ・地域の団体の代表者(自治会、地区福祉委員、PTAなど)
- ※すべて無償ボランティア

5. 予算提案権とは

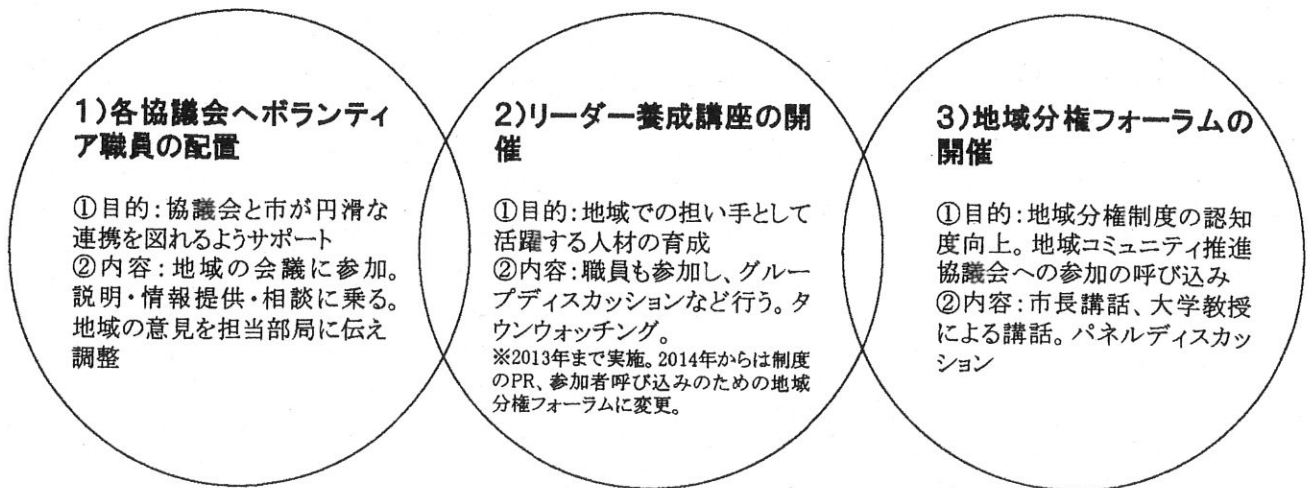
- ・地域の課題を解決するための事業を市に提案する権利。
- ・提案額は、各地域ごと人口、面積を考慮して上限(概ね800万円程度)を設定。

6. 事業内容

主要5分野

- ①安全・安心(安全パトロール隊巡回)
- ②福祉(高齢者等配食サービス事業、見守り・声かけ運動、小さな絵本館推進事業)
- ③環境(花いっぱい運動)
- ④広報
- ⑤コミュニティ振興

7. 地域コミュニティ推進協議会を支える取り組み



8. 課題

1)地域の人々にとって

- ・活動会員の不足・高齢化
- ・事務作業が多い
- ・アイデアの不足
- ・活動者の疲弊

2)市役所にとって

- ・ボランティア職員の実環境整備
- ・関連部署との連携
- ・提案内容の精査
- ・担当課の負担増

### 1. 行政基礎データ

■人口(2015年5月1日)

人口:5,343人

■予算(平成27年度予算)

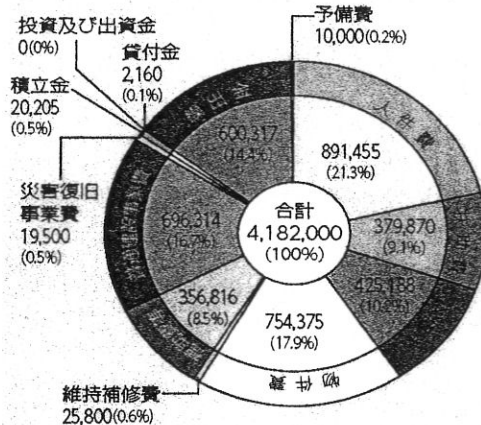
一般会計41億

※詳細は右の図を参照。



性質別歳出

(単位:千円)



## 2. 施策について

### 1. 神山プロジェクト

#### (1)前提と目的～創造的過疎から考える地方創生

高齢化率46%、過疎化の現状を受け入れ、外部から若者やクリエイティブな人材を誘致することによって、人口構成を健全化させたり、多様な働きかたを実現できるビジネスの場としての価値を高め、農林業だけに頼らないバランスのとれた持続可能な地域を目指すもの。

#### (2)企画詳細

##### ①サテライトオフィス(IT、映像、デザイン等働く場所を選ばない企業の誘致)

- ・2015年9月現在、12社がサテライトオフィス設置。本社移転、新会社設立。(羽田空港から120分日帰り圏内(空路/60分、陸路60分))
- JAZY国際特許事務所、徳島大学SO「神山学舎」、明治大学サテライトなど
- ・合計30名新規雇用。3年後までに30程度の新たな雇用が生まれる見込み
- ・エンジニアやプログラマーだけではなく、営業部門(オンライン)も展開

##### ②ワークインレジデンス(町の将来にとって必要になる働き手や起業家の誘致)

- ・ビストロ、カフェ、パン屋、ピザ屋、靴屋、総菜屋、ゲストハウス・・・など開業
- ・商店街への展開によって、これまでに類を見ない地方における新たな商店街モデルの誕生

##### ③神山塾(厚労省の基金訓練、求職者支援訓練による後継人材の育成)

- ・訓練生の属性:独身女性、30歳前後、首都圏出身、クリエイター系が多数
- ・6期77名修了。移住(約50%)、SO就職(10名)、婚活(カップル10組誕生)

## ■2-2. 研修報告 徳島県神山町 「IT企業の地方誘致について」

### 2. 経過

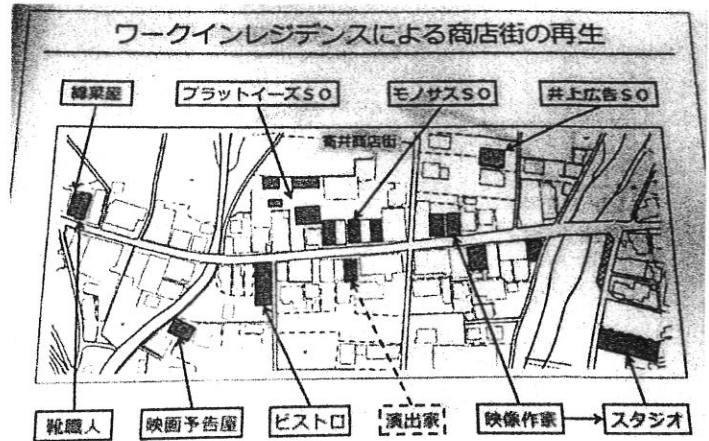
- ・2011年、転入者(151人)が転出者(139人)を上回るという結果を出す。
- ・移住センター経由の移住者(2010～13年度)58世帯105名(子ども27名)平均年齢30歳前後

### 3. 神山アーティスト・イン・レジデンス(KAIR)

- ・芸術家(日本人1名、外国人2名)招待。住民が製作の支援。

### 4. ワークインレジデンス=指名型移住促進

- ・町の将来にとって、必要と思われる「働き手」「起業家」を逆指名。
- 【例】パン屋さん、デザイナーさんなど、移住者を指名。
- 事前に職種を特定・限定することで町のデザインが可能になる！



オフィスやクリエイター・アルチザン(職人)の集積

9

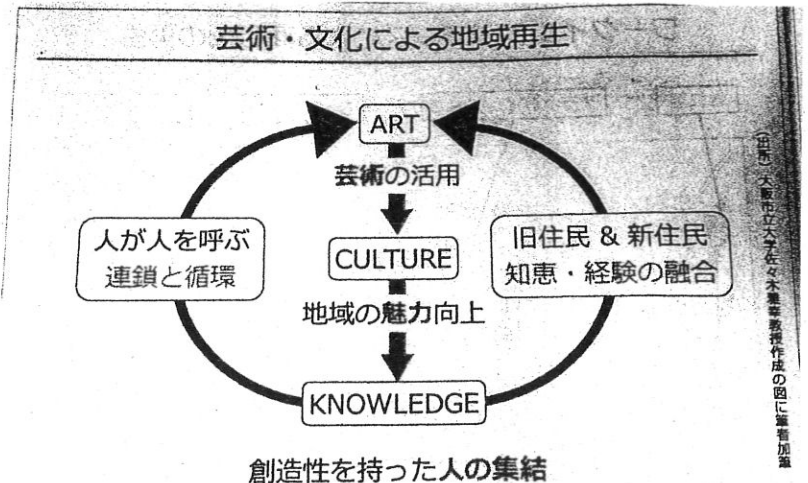
## ■2-2. 研修報告 徳島県神山町 「IT企業の地方誘致について」

### 5. オフィスイン神山(空き家改修プロジェクト)

- ・事業の目的:クリエイターが循環する場をつくること。

### 6. 芸術・文化による地域再生

- ・そこに「何」があるかではなく、そこにどんな「人」が集まるか！



そこに何があるかではなく、そこにどんな人が集まるか！

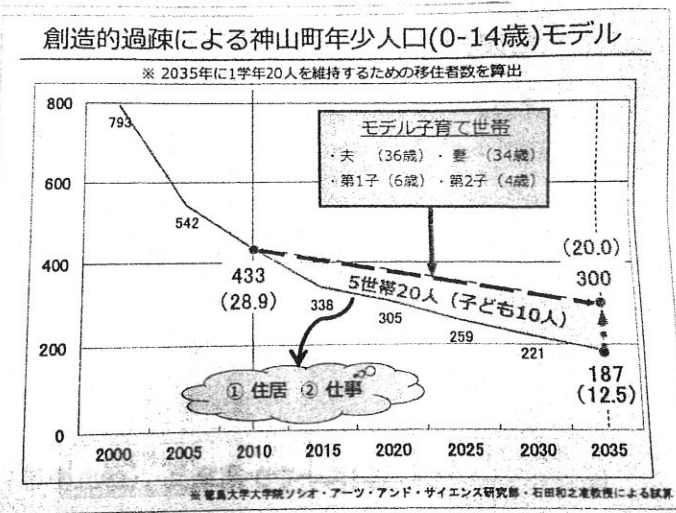
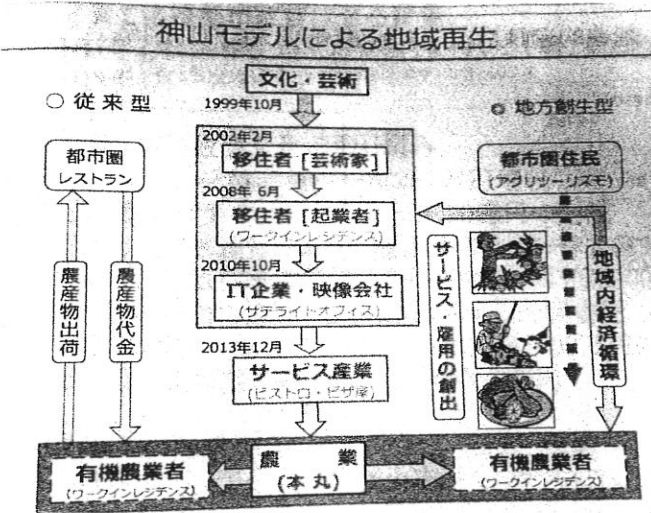
### 7. 神山モデルによる地域創生

- ・強みを活かしたまちづくりは必須なのだが、それを実現できるプラットフォーム(基盤)の整備。
- =神山町の場合は光ファイバー整備は行政が行っている。ソフトは民間。責任領域を明確化する。

10

■2-2. 研修報告 徳島県神山町 「IT企業の地方誘致について」

8. 創造的過疎による地域再生

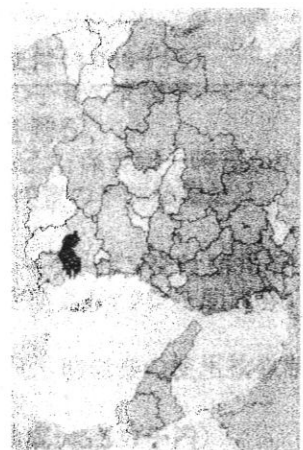


11

■2-3. 兵庫県相生市 「子育て支援宣言都市について」

1. 行政基礎データ

- 人口(2015年5月1日) 30,091人
- 予算(平成27年度予算) 一般会計:157億
- ※詳細は右の図を参照。



(単位 千円)

会 計 名	平成27年度		平成26年度		比 較		
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	伸率(%)	
一 般 会 計	15,700,000	56.6	13,700,000	54.6	2,000,000	14.6	
特 別 会 計	国民健康保険 特別会計	4,693,000	16.9	4,202,000	16.8	491,000	11.7
	公共下水道事業 特別会計	2,770,800	10.0	2,677,800	10.7	93,000	3.5
	看護専門学校 特別会計	102,400	0.4	99,800	0.4	2,600	2.6
	農業集落排水事業 特別会計	485,000	1.7	430,300	1.7	54,700	12.7
	介護保険 特別会計	2,764,000	9.9	2,695,000	10.7	69,000	2.6
	後期高齢者医療保険 特別会計	464,000	1.7	470,000	1.9	△6,000	△1.3
	小 計	11,279,200	40.6	10,574,900	42.2	704,300	6.7
	病院事業会計	783,187	2.8	797,930	3.2	△14,743	△1.8
合 計	27,762,387	100.0	25,072,830	100.0	2,689,557	10.7	

12

■2-3. 兵庫県相生市「子育て支援宣言都市について」

2. 施策について

1. 子育て応援都市宣言に至る背景

H17年3月に「相生市SOS宣言」を行い、「第1期相生市行財政健全化計画(H18～22年度)」を策定。  
H18年4月～スタート。

(1) 第1期財政健全化の取り組み

- ① 市民への受益者負担→約267万円増収
  - ② 投資的経費事業の見直し→約20億円の削減
  - ③ 繰り上げ償還等による市債残高の削減→約2億9000万円の減少
  - ④ 職員数、人件費の削減(43人削減)→約3億5000万円の削減
  - ⑤ 下水管理センター、図書館業務等の民間委託
  - ⑥ 財政調整基金積立金の増加→約7億5000万円の増加
- 第1期計画目標の効果額=27億6000万円**

(2) 最大の課題

2040年には、年少人口の減少率がマイナス62%(H17年度比較)。**兵庫県でワースト。**

(3) 課題解決の方向性

「第2期行財政健全化計画(H23～27)」を開始。

選択と集中で投資。重点事業を設定。

- ① 人口減少対策～転出抑制と転入促進による人口の社会減対策
  - ② 教育・子育て・少子化対策～教育環境や子育て環境の充実
  - ③ 産業の活性化対策～企業誘致や市内の経済の活性化
- 積極的なPRを展開(テレビCM、中吊り広告など)

■2-3. 兵庫県相生市「子育て支援宣言都市について」

2. 課題解決策～相生市子育て応援都市宣言

「11の鍵」

(1) 出産祝い金支給(12,003千円)

市内に産婦人科(分娩施設)がないので、交通費負担軽減とお祝いを含め50,000円を贈る。

(2) 子育て応援券交付(4,968千円)

0～2歳まで有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券20,000分を贈る。

※利用できるサービス: 保育所一時預かり、延長保育、ファミリーサポート、任意の予防接種など

(3) マタニティタクシークーポン交付(630千円)

妊婦が外出の際に使えるタクシー助成券10,000円分(500円×20枚)を贈る。

※1回の乗車に対し、助成券の使用枚数制限なし

(4) 子ども医療費助成(45,537千円)

小4から中3までの入院医療費の無料化に加え、市単独事業として通院医療費の自己負担分を助成し、

無料化を図る。 ※乳幼児等医療費助成と合わせると中学3年生までの医療費が無料。ただし、0歳を除き所得制限を設けている。

相生市「11の鍵」 AIC

子育て宣言都市のまち、相生  
あひおいが暮らしやすい

相生市では「子育て応援都市」宣言をし、子育てしやすい環境を整え人口減少対策や定住促進を推し進めています!

11の鍵

- 01 結婚世帯家賃補助金交付事業
- 02 定住型住宅取得奨励金交付事業
- 03 マタニティタクシークーポン事業
- 04 出産祝い金支給事業
- 05 乳幼児等子ども医療費助成事業
- 06 子育て応援券交付事業
- 07 保育料減額事業
- 08 市立給食センター運営事業
- 09 給食費無料化事業
- 10 産後子育て支援事業

AIC



## ■2-3. 兵庫県相生市「子育て支援宣言都市について」

### (5) 市立幼稚園給食実施(9,285千円)

週3回(火・水・木)給食を実施。月曜はお弁当、金曜は午前保育。

※3歳児については、2学期から給食実施。

### (6) 給食費無料化(109,413千円)

市立幼稚園(6園)、小学校(7校)、中学校(3校)で栄養の取れた給食の提供と給食費の無料化。

※幼240円、小250円、中310円@1食

### (7) 保育料軽減事業(54,862円)

市立幼稚園保育料は無料。私立幼稚園・保育所には月額8,000円を限度に補助。

### (8) 市立幼稚園預かり保育事業(5,361千円)

4歳児、5歳児を対象に通常保育終了後16:30まで月額5,000円で預かり保育を実施。

### (9) 相生っ子学び塾事業(6,115千円)

児童の安全な放課後の居場所づくり、自学自習力と基礎学力の向上を目的に、地域の人々や教員OBの協力のもと、小学5・6年生を対象に国語、算数、英語等について実施。

※国語・算数=週1回、英語=月2回、珠算=月に2回

### (10) 新婚世帯家賃補助金交付事業(34,000千円)

市内の民間賃貸住宅に新たに入居する結婚3年以内で夫婦のどちらかな40歳未満の新婚世帯に月額1万円の家賃補助を3カ年行う。

### (11) 定住者住宅取得奨励金(16,000千円)

市内に住宅を新築または購入した40歳未満の世帯に50万円を市外からの転入者で住宅を新築、または購入された世帯(年齢制限なし)に30万円を5年に分けて助成する。※中古住宅の場合、半額助成

15

## ■2-3. 兵庫県相生市「子育て支援宣言都市について」

### 3. 施策の検証

#### (1) 施策発表(=スタート)時の主な意見

1. なぜ子育て世代だけの支援なのか?
2. 給食費は保護者負担すべき
3. 高齢者福祉サービスが後退するのでは?
4. 短期間で終わってしまうのでは?
5. 財政的に続けて行けるのか?

◎財政状況についても、中長期のシミュレーションを行った上で実施

◎高齢者・福祉サービスは維持

※議会、市民等への理解を得るためコスモトーク(市民対話集会)等を通じて説明。

#### (2) 実施後の声(=ユーザーボイス)

- ・配膳や食べ方の教育をしてもらえてありがたい。
- ・子育てに精神的な余裕ができ、子どもに向き合えるようになった。

16